

2021 年度入学者選抜方法・配点など

【文学部 国文学科 各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書により合格者を決定します。第二次学力検査(個別学力試験等)は実施しません。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力試験等教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目			配点	個別学力試験	個別学力試験の配点
		教科	科目	科目選択方法			
前期一般選抜	3教科3科目	国語	「国語」	(必須)		300	課さない
		地理歴史	「世界史 B」「日本史 B」	1科目選択	1科目選択	100	
			「地理 B」				
		公民	「現代社会」「倫理」	1科目選択		100	
			「政治・経済」 「倫理、政治・経済」				
		数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」	1科目選択		100	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」	から 2 (A)		(A)	
「生物基礎」「地学基礎」	から 1 (B)		または (B)				
外国語		「英語」「ドイツ語」	1科目選択 (必須)		100		
	「フランス語」「中国語」 「韓国語」						
					計 500 点 (下記 5 参照)		

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「外国語」を必須とします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を4:1とし、リーディング80点・リスニング20点、合わせて100点とします。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 4) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 5) 「大学入学共通テスト」の合計500点満点とします。
- 6) 調査書は主に、受験者の合否判定の資料として活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、第二次学力検査(個別学力試験)、調査書により合格者を決定します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力試験等教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目				配点	個別学力試験	個別学力試験の配点(試験時間)
		教科	科目	科目選択方法				
中期一般選抜	3教科3科目	国語	「国語」	必須		200	国語(国語総合・現代文B・古典B)	300点(100分)
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」 「地理B」	1科目選択		100		
		公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」					
		数学	「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」	1科目選択		100		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	から2 (A)	(A) または (B)	100		
			「物理」「化学」 「生物」「地学」	から1 (B)				
		外国語	「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」	1科目選択(必須)		200		
						計800点(下記5参照)		

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。「国語」と「外国語」を必須とします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を4:1とし、リーディング160点・リスニング40点、合わせて200点とします。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 4) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 5) 「大学入学共通テスト」(500)・個別学力試験(300)の合計800点満点とします。
- 6) 調査書は主に、受験者の合否判定の資料として活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。

■ 学校推薦型選抜

〈選考方法〉

小論文と調査書・推薦書の総合判定により合格者を決定します。日本漢字能力検定、語彙・読解力検定、実用英語技能検定試験の資格（いずれも準2級以上）、TOEFL iBT、TOEIC、TOEIC Bridge、GTEC のスコアを推薦書中の「活動・資格等の記録」における評価の対象に含めます。

- 1) 「小論文」が 70 パーセント、「提出書類」が 30 パーセントの割合で合否判定を行います。
- 2) 出願資格は、評定平均値 3.6 以上とします。
- 3) 調査書・推薦書は、入試の選抜に活用するのみならず、合格者の入学後の教育にも活用します。